

平成 20 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ポッカコーポレーション
代表者名 代表取締役 社長 堀 雅寿
問合せ先 広報・環境室長 井上佳昭
(TEL 03 - 5634 - 1504)

コメダグループに対するアドバンテッジパートナーズが サービスを提供するファンドとの協調投資のお知らせ

株式会社ポッカコーポレーション(以下「ポッカコーポレーション」)は、アドバンテッジパートナーズLLP(以下「AP」)がサービスを提供する投資事業有限責任組合アドバンテッジパートナーズIV号(以下「4号ファンド」)他複数のファンド(以下、総称して「4号ファンド等」)が出資し、平成20年4月28日付けでコメダグループの株式を譲り受けた株式会社AP11に対し、平成20年4月25日に12%の出資を行いましたので、下記の通りお知らせいたします。ポッカコーポレーションは、同じ名古屋市に本社を構える会社として、今後両社が協業できる分野においてコメダグループと共同で検討を行い、シナジー効果が得られる戦略を策定し展開してまいります。

【コメダグループの概要】

中核会社である株式会社コメダを始めとするコメダグループは、中京圏を基盤とする喫茶店チェーンの運営事業を営み、これまで着実な事業拡大を続けて参りました。個性的な店舗・メニューや独自のフランチャイズ・システムにより幅広い年齢層のお客様にご愛顧いただき、名古屋では極めて高い認知度を獲得しております。中京圏のみならず関東や関西への出店も実施し 300 店舗を超えるに至っており、グループ合計の売上高は約 54 億円となっております。

記

1. 協調投資の理由

ポッカコーポレーションは、グループにおける成長戦略の一環として国内のカフェ事業を強化する方針の下、具体的な施策を模索しておりました。

このような中、4号ファンド等がコメダグループの事業承継を行うことが合意されました(参考:APのニュースリリース「<http://www.advantagegroup.co.jp/news/newsrsls/08031901.html>」)。ポッカコーポレーションは、グループのカフェ事業やポッカコーポレーション本体との事業シナジーを追求する機会としてこれを捉え、4号ファンド等と協調投資を行うことに合意いたしました。

2. 協調投資の内容

ポッカコーポレーションは、今回の事業承継スキームにおいてコメダグループの持株会社となった株式会社 AP11 に出資を行い、普通株式 558,240 株 (発行済株式総数に対する割合: 12%) を保有しております。

以 上